

## 宮本武蔵の和歌

「乾坤をそのまま庭と見るときは我は天地の外にこそ住め」  
庭は居乍らにして宇宙に住んでいる気分にする事が出来るのです。

1. 水やりの仕方。
  - ①霧吹きで水を苔珠と草木にも1日に1～2回かける。
  - ②皿にハイドロボールを敷いて苔珠を置き、皿に水が少し溜まる程度水を入れる。コップで苔珠に4～7日間に1度程水をかける。
  - 普通この方法→\*③苔珠を両手で包む様に持ち、草花の茎まで丸ごと水中に入れて、苔珠から空気の泡が出なくなるまで水を充分浸透させる。(約30秒程)
2. 水やりの注意。
  - ①苔珠を手で持ち上げて軽くなっておれば水が必要。重さで判断する。
  - ②水分が多過ぎると苔も草木も病気がでたり根腐する。
  - ③ホソバシラガ苔は乾燥しても水をやれば元気になります。苔に触れて乾燥の度合いを判断します。苔や草木の葉の色で水や光線の必要度を判断出来る様になります。苔が白く白髪状になってもまた緑色の新たな苔が生えてきます。
3. 苔が剥がれたら。
  - ①剥がれた所の黒い土(ケト土)の表面を水で濡らして指先で少し撫でて土に粘りが出れば、剥がれた苔を押しつける様にして貼りつける。ケト土を少し固まらすと剥がれにくいので、2～3日は水に浸けない。
4. 草木が枯れた。
  - ①ハサミで株(茎)を少し残して、切り取る。根が生きておれば新芽が出てくるので苔を育て続けてみると、種類により一年後に芽が出てくる。
  - ②苔が育っておれば、竹串等で穴を空けて元の草木の根を取りのぞき、新に小さな草か木の苗を植える。シダ等根の小さいものが植えやすい。
5. 苔が枯れた。
  - ①苔も草木も太陽光線が当たらないと枯れるので、陽の当たらない窓辺では時々太陽に当てる事が必要。
  - ②苔が部分的に茶色くなってきたら病気である、殺菌剤(園芸店)をスプレーする。
  - ③新に山や庭で同種類の苔を採取して、ケト土で貼り付ける。
6. 草木が大きくなり過ぎた。
  - ①剪定をして小さくする。植木鉢で育てるのと同様の剪定をする。
  - ②苔珠ごと庭か植木鉢に植える。苔珠の材料は全部植物繊維なので土の中で腐る。
7. 草木の葉の色が薄く生育が悪い。
  - ①液肥(ハイポネックス 園芸店)をやる。規定の濃度より少し薄いものを草木の根元に浸透さす。
  - ②苔には肥料は不要であるが、バケツの水に液肥を加え、1500倍以上の液を作り、苔珠を浸けて中まで浸透させる。
8. 多年草やシダ等と木(モミジ等の苗)を組み合わせて植えると育てやすい。
9. 数年育てて、大きくなったら作り直して、一回り大きい苔珠に作り替えます。